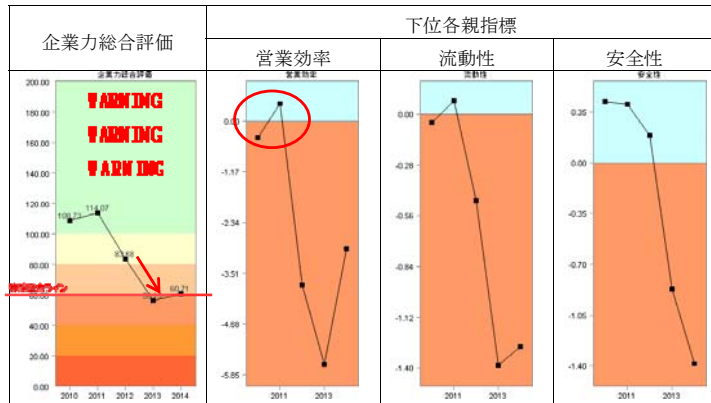


今回は、シャープ株式会社を分析しました。液晶テレビの創生期から液晶パネル市場を牽引し、「亀山モデル」が世界的ブランドになりましたが、近年は不振が続き、2013年5月14日、就任からわずか1年余りで奥田隆司社長は代表権のない会長に退き、後任に高橋興三副社長が就くことが決まりました。シャープ(株)はどうなっているのでしょうか。



2010～2013年は1年決算、2014年は第1四半期決算の数字で分析しました。

企業力総合評価は、108→114→83→56→60と推移。WARNINGが3つ付いています。たった1年で社長交代となった2013年を見ると、企業力総合評価が27ポイントも下落しています(↓ の部分)。V字回復させることを期待されたにもかかわらず、破綻懸念領域に突っ込んでしまいました。

営業効率を見ると、2010年2011年は赤信号領域と青信号領域の境界付近にあり、この頃から業績が悪化していたことがわかります(○ の部分)。

流動性も赤信号領域です。ただ、巨大企業では、棚卸資産、売掛債権、現金預金をギリギリ最効率でまわしているため、赤信号領域レベルを維持している場合もあります。

安全性も4期連続下落して赤信号領域へ。ここを上げようとしているため、出資・提携先とのニュースがよく出ます。

営業効率を詳しく見てみます。

単位: 百万円・%

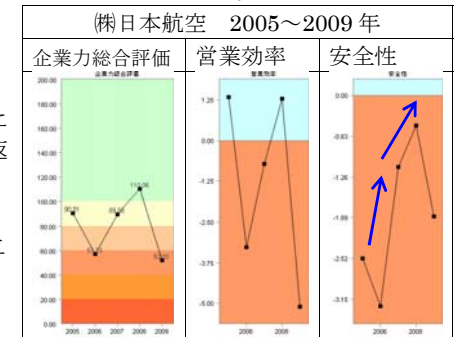
	2010	2011	2012	2013	2014第1四半期
売上高合計	2,755,948	3,021,973	2,455,850	2,478,586	607,913
売上総利益	526,438	569,628	412,008	260,583	100,955
売上高総利益率	19.1	18.85	16.78	10.51	16.61
売上高販管費率	17.22	16.24	18.31	16.41	16.11
営業利益	51,903	78,896	-37,552	-146,266	3,012
売上高営業利益率	1.88	2.61	-1.53	-5.90	0.50
経常利益	30,995	59,124	-65,437	-206,488	-12,783
売上高経常利益率	1.12	1.96	-2.66	-8.33	-2.10
当期利益	4,397	19,401	-376,076	-545,347	-17,977
売上高当期利益率	0.16	0.64	-15.31	-22.00	-2.96

2012年、37,552百万円の営業損失を出しました。営業効率も赤信号領域に深く落ち込みました。当期損失は376,076百万円の大赤字。この期は特別損失185,960百万円(固定資産除売却損5,950、減損損失6,656、品質補償損失11,500、大型液晶操業損失25,887、事業構造改革費用117,110、和解金18,857)を計上していました。

V字回復を狙うには資金が必要です。事業再構築のために、まず不採算事業を売却・停止したり、資産を売却したりして赤字部門を減らします。そして黒字体質にして、利益の出る態勢を作らないといけません。その過程で資金が必要になります。シャープ(株)が借入金を増やしたり、出資・提携先会社を探しているのはそのためです。そして、利益の出る事業構造になれば、その後獲得した利益で借入金を返済し、増資に対して配当します。

V字回復がうまく行っているかどうかを見るには、「営業損失」が計上されていて、資本金や借入金が増加し、「特別損失」が計上され、翌期「営業利益」が出ていれば成功です。決算書は1年区切りなのでタイミングが合わないこともありますが、月次決算に表れます。

V字回復が失敗した例の1つは、2009年までの(株)日本航空(下グラフ)です。



安全性グラフを見ると大きく2回上昇しています。増資で資金手当てをしましたが、事業再構築が甘く、利益の出る体質にできませんでした。せっかく入れた資金は赤字となって社外に流出し、増資を2回繰り返しました。

事業再構築は人員リストラなど痛みを伴いますが、このままでは「倒産する」ということを前提にしないと、苦しみを長引かせてしまいます。

営業損失は出してはいけない赤字です。でも、事業再構築によって多額の特別損失が出て当期損失、という場合は、「戦略的赤字」であって、将来の黒字のために計上されたものですから、出しても良い赤字です。

シャープ(株)は2012年2013年と2期連続営業赤字を出しています。2014年第1四半期の改善が救いですが、この先はどうなるのでしょうか。

(株)日本航空は2012年、見事なV字回復を遂げました。

まとめ まず営業利益率を高めることが大事です。さらに経常利益率を高めてください。そして、細かな事業再構築を繰り返し、常に利益の出る事業を維持してください。

編集後記 「調子はどう?」「絶対調!」シャープのお掃除ロボットは元気に答えてくれます。

文責MS

〒556-0005 大阪市浪速区日本橋4-9-21 SARUKIビル4F 猿木真紀子税理士事務所

Tel. 06-6631-4570 Fax. 06-6631-7970 info@saruki-tax.jp http://www.saruki-tax.jp